

Topic 1

ENA HRi取り扱い商品 (一部)



Complete Kit

- ENA 15種各5g
- Universal Enamel (3種)
UE1/UE2/UE3
- Additional shade (3種)
IW/IWS/IM
- Universal Dentin (9種)
UD0/UD0.5/UD1/UD2/UD3/
UD3.5/UD4/UD5/UD6



Shade Guide

レイヤーテクニックに適した仕上がりイメージしやすいシェードガイド。



Ena Heat

ENA HRiコンポジットレジン専用ヒーター。2種類の選べる温度設定 (39°C/55°C)。



Stain Kit

- 6種各2g
- Stain (6種)
white/blue/brown/brown2/
yellow/orange



Flow Kit

- 7種各2g
- Flow (7種)
UD1/UD2/UD3/UD3.5/
UD4/UD5/UD6

その他の商品はWEBをご覧ください



Topic 2

開催予定セミナー 残席僅か

コンポジットレジン充填の基本の「き」

- 講師 中山大蔵先生、辺見浩一先生 (五十音順)
- 日時 2018年9月15日 (土)、16日 (日)
15日 14:00 ~ 19:00、16日 10:00 ~ 16:00
- 会場 西新宿ドム貸会議室 双英ビル会議室A
- 参加費 ¥70,000

明日からスタート出来るベニア修復

- 講師 大河雅之先生
- 日時 2018年10月27日 (土)、28日 (日)
27日 10:00 ~ 17:00、28日 9:30 ~ 16:30
- 会場 名古屋駅周辺セミナールーム
- 参加費 ¥50,000

他にも定期的にセミナーを行っております。詳細はWEBをご覧ください。

Topic 3

第8回ワールドデンタルショー 2018 出展決定

この秋、横浜で開催される第8回ワールドデンタルショー2018に出展致します。ブースではENA HRiはもちろん、小児向け矯正用マウスピースのプレオルソなど、多数の歯科器具を展示致します。一度に様々な商品をご覧いただき、実際に商品に触れられる貴重な機会です。また、当日は特別価格もご用意しておりますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

第8回ワールドデンタルショー 2018

- 会場 パシフィコ横浜 展示ホール
- 日時 10月5日 (金) 12:00 ~ 19:00
10月6日 (土) 10:00 ~ 19:00
10月7日 (日) 9:00 ~ 17:00

ブースNo. **A-22**
株式会社フォレスト・ワン

豊かな恵みでイノベーションを生み出すデンタルマガジン

N Forest-one News

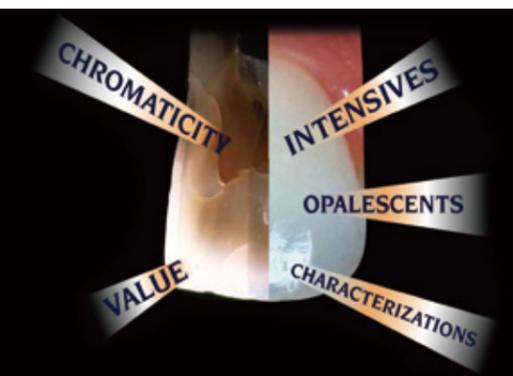
「ENA HRi Meeting」名古屋にて開催



No.1
2018.08.27



「ENA HRi Meeting」名古屋にて開催



弊社は昨年引き続き8月5日（日）名古屋市にてENA HRi Meetingを開催致しました。クローズドで行った昨年のユーザーミーティングが大変好評であったため、今年は一般募集を行ったところ、大勢の先生方にご参加いただきました。ユーザーミーティングという形式であったことで、商品だけにフォーカスを当てた内容ではなく、普段はなかなか聞くことが出来ない治療計画やテクニックの話。また、会場からの質問に対しても貴重な意見をお聞きすることが出来ました。

座長は昨年引き続き飯田吉郎先生（ナディアパークデンタルセンター/名古屋市）。演者にはENA HRiユーザーである5名の先生をお願いをし、ENA HRiをどのように臨床で活用しているのかをご講演いただきました。各講演の概要をお届け致します。



臨床家5名が語る！最新のコンポジットレジン臨床

日時 2018年8月5日（日）9:30～17:00 **会場** TKPガーデンシティ PREMIUM 名古屋新幹線口

演者 (五十音順)



青島 徹児 先生
青島デンタルオフィス



飯田 真也 先生
いいた歯科医院



池村 仁克 先生
カメラリア歯科
矯正クリニック



岩田 淳 先生
岩田歯科医院



吉木 雄一朗 先生
Y'sデンタルクリニック



飯田 吉郎 先生
ナディアパーク
デンタルセンター

座長

Session 1 飯田 真也 先生

1 白歯部充填における新しいテクニックとしてシリコンインデックステクニックのお話を頂きました。今年のEAED（ヨーロッパ審美歯科学会）で発表されている海外の先生もいらしゃった最新のテクニックです。口腔内での充填ではなく、事前に準備をしたインデックスを用いCRを圧接することで短いチェアタイムで適切な咬合面形態を簡易的に作成することが可能になります。



Session 2 吉木 雄一朗 先生

2 MI (Minimal invasive) の概念を基に歯質を出来るだけ温存して歯の負のスパイラルを回避するための治療計画、矯正治療を絡めた審美補綴治療や加熱したCRによる補綴物の接着 (Hart : Heated adhesive resin technique) を行うことによる優位性をお話頂きました。CRの繰り返し加熱による物性の低下を防ぐために日々の臨床ではエンドノズル (サンメディカル) を使用されています。

◀ エンドノズル



Session 3 池村 仁克 先生

3 日々の臨床において確実な接着修復治療を達成するための事前準備（ラバーダム防湿等）の大切さやテクニックをお話頂きました。またマイクロスコープを使いミラーテクニックにて臼歯部咬合面形態を常に見ながら充填操作をするテクニック等を動画を交え、お話を頂きました。



Session 4 岩田 淳 先生

4 充填テクニックからベニア修復、形成等幅広くお話を頂きました。臼歯部においては咬合面形態の分析の仕方を数値に落とし込んだ説明をして頂き、天然歯形態を再現するための注意事項を明白にしてくれました。またラミネートベニアを使った間接修復においてはシェードテイクを確実にやりテニシャンに指示をすることで再現性の高いラミネートベニアを作成されており、テニシャンとの連携の大切さも伝わったかと思えます。偏光フィルターを使い光を飛ばしてシェードテイクを行う手法はENA HRi開発者であるパニーニ先生も開発前から行っており、VITAベースでのシェードテイクではなく天然歯を観察して再現性の高い審美修復治療が可能にすることが出来ます。



Session 5 青島 徹児 先生

5 天然歯の年齢による変化や前歯部・臼歯部における充填のテクニックを長期症例を含めお話を頂きました。またENA HRiを温めてセメントとして使用する手技について、質問を受けることが多い皮膜厚さについてや補綴物が浮かぬか・光は届くのか等についてBasic press ceamicsに掲載された実験結果やご自身の経験も含めお話を頂きました。日本ではCRを温めてセメントに使われる先生が増えています。自費充填の際にも温めたCRを使うことによりコロナルリーケージの減少や重合率UP等のメリットがあるという新しいトピックもお話頂きました。また受講生の要望に応え補綴の話サブシンジバルカウンターを中心にお話を頂きました。



Voice 参加された先生の声

岡崎 伸一 先生 岡崎歯科 (愛知県)

本講演では「歯の保存」という使命に多角的な試みで挑む登壇者の姿勢に大いに刺激を受けました。特筆すべきは岩田淳先生。超絶技巧と呼ぶべき形態模倣技術と、生み出された質感を余すことなく写しとった美しいスライドや動画には目を奪われるばかりでした。さらに圧巻は青島徹児先生のご講演。コンポジットレジンに主眼を置きながらも、解剖学的な留意点から補綴に至るまで「歯を保存する」要点が惜しみなく網羅された本場に贅沢な時間でした。本講演を通して翌日からの診療に即座に導入できるスキルの数々や多彩な臨床応用が可能なENA HRiの特性を学ばせていただきました。歯科治療の新たな可能性に触れることができた貴重な1日でした。

竹内 一貴 先生 竹内歯科医院 (香川県)

現在の歯科医療においてMIの概念に基づいて歯の切削のより少ない治療を患者さんに提供するに否定的な方はおられないと思うが、その一方で実際の臨床への応用を学ぶ機会は多くない。今回のミーティングでは日常的にダイレクトボンディングを数多く行っている臨床家が、さらに一歩進むための多くのエッセンスを学べた1日になった。また、ダイレクトボンディングを行っていない先生方にとっても接着修復の魅力を堪能できた充実した1日になったはずである。具体的にはより自然に魅せるダイレクトボンディングのコツ、実際の臨床に即したダイレクトとインダイレクトの境界とインダイレクトの形成のポイント、矯正とダイレクトボンディングなど他の治療とのコラボレーションの話からダイレクトボンディングのさらなる応用についても学ぶことができた。また、接着の基本や歯の形態のレクチャーからダイレクトボンディングの最も重要なところについても知識を整理することができた。自社製品に限らずダイレクトボンディング全体を学ぶ機会を提供されたフォレストワンの関係者の方々に敬意を評します。